

今月の一言

キーワード：疾風知勁草

疾風（しっぷう）に勁草（けいそう）を知る

中国後漢王朝の盛衰を記録した歴史書「後漢書」から。

後漢の光武帝がはじめて義兵を挙げたとき、帝に従っていた者は、敗色が濃厚になるにつれ一人抜け二人抜けてゆき、最後まで光武帝を助け戦ったのは王覇（おうは）だけになったという。光武帝は感動して、言ったコトバとして出典には「潁川（えいせん）にて我に従いし者皆逝（ゆ）きて、子（し：王覇）独り留まりて努力す、疾風に勁草を知る」とある。

強い風が吹き天候が荒れたときに、強さの真価がわかるという意味。

冷たく強い風には当たりたくないものだが、苦勞に立ち向かってこそ人は本当の強さを身につけられるという教えだ。また、困難や試練に遭遇してはじめて、その人の意志や節操の堅固さがわかるというたとえである。

「百年に一度の経済状況」と言われ“全世界同時不況”と非常に厳しい経営環境です。困難や試練というのはこうした厳しい環境を、「社内あげてひとり一人が具体的に行動して乗り切る」今こそ第一交易の真価が問われる一年になる！

今年度テーマ：原点と標準を考えて具体的に行動しよう

2009年3月25日

さいのう とおる

追伸：気候の変化が目まぐるしく変わる時期です。体調管理には十分注意して下さい。また、初心者マークの車が多くなりますので事故のないようにお願いします。